

新ひだか町と

自衛隊

れ、住民の安全確保に努めてい
ます。
また、夏まつりやマラソン大
会、自治会活動など（P3写
真）、地域の活動に積極的に参
加しています。

じめ、各種イベントへの積極
な参加など、その存在は地域に
深く根付いており、まちづくり
を進めるうえで重要な役割を
担っており、地域の活動が停滞
する可能性もあります。

― 静内駐屯地の概要 ―

国の防衛政策の変革や防衛
力整備の見直しにより、自衛隊
では組織の縮小や自衛官数の
削減が進んでおり、道内でも自
衛隊の体制見直しによる影響
が各地で出ています。

そして、国家公務員定数削減
の方針や防衛計画大綱の見直
し等により、自衛隊はさらに削
減や統廃合されることが予想
され、北海道の自衛隊を取り巻
く環境は大変厳しい状況にあ
ります。

このことは、駐屯地のある新
ひだか町にとって、非常に憂慮
される問題であります。もし、
駐屯地が縮小されたら？今月
は、このことについて触れてみ
たいと思います。

― 縮小に伴う、町への影響 ―

もし、自衛隊が縮小された
ら、新ひだか町にどのような影
響があるのでしょうか。

国の安全はもとより、災害時
において自衛隊によるすみや
かな支援を受けることが困難
になることが予想され、住民の
生命及び財産を守ることが難
しくなるかもしれません。

また、地域経済にも大きな影
響を及ぼすことが懸念されま
す。静内駐屯地の隊員約400名と
その家族の方々の町内におけ
る、衣食など家計消費支出のほ
か、町税や国からの各種交付金
や補助金などの歳入もあるな
ど、静内駐屯地の所在による経
済効果は多大なものがありま
す（※参考②）。

なによりも、これまで自治会
活動や町の文化・芸術活動をは

― 自衛隊体制維持を求める活動 ―

町ではこれまで、北海道や自
治体で組織する北海道駐屯地
等連絡協議会や各種関係団体
と協力し、自衛隊の体制維持に
ついて、国などへの要望活動を行
ってきました。また、役場静
内庁舎前に『自衛隊体制存続維
持を』と懸垂幕を掲げて（左写
真）町の姿勢をアピールしてい
ます。

今後も、各関係団体と協力し
要望活動を行うほか、町広報誌
や町ホームページ等を活用す
るなどし、自衛隊体制維持活動
を行っていきます。



役場静内庁舎に掲げた懸垂幕

自衛隊の地域活動への参加



- ① 新ひだか町夏まつりで阿波踊りを披露
- ② シベチャリ駅伝大会に自衛隊チームとして参加
- ③ 町防災訓練に参加し、地域の防災活動に貢献
- ④ 町民と隊員の音楽の集いでは、壮大な音楽で観客を魅了
- ⑤ しずないウインターデ・ライトでは、幻想的なキャンドルを作成

参考① 【災害派遣状況】

時 期	場 所	災害名	派遣内容	備 考
S56.8	静内、厚賀	水 害	給水支援、復旧活動	●日数：2日間 ●人数：300名 ●車両数：18両
S57.3	浦河、三石	浦河沖地震	給水支援、復旧活動	●日数：7日間 ●人数：977名 ●車両数：355両
H7.8	静 内	水 害	給水支援、土のう補強	●日数：4日間 ●人数：43名 ●車両数：19両
H9.8	静 内	行方不明者	行方不明者捜索	●日数：2日間 ●人数：50名 ●車両数：12両
H11.10	静 内	行方不明者	行方不明者捜索	●日数：1日間 ●人数：32名 ●車両数：5両
H12.3	虻 田	有珠山噴火	輸送支援、特別活動支援	●日数：117日間 ●人数：2,552名 ●車両数：571両
H15.8	新冠、厚賀	台風10号	人命救助、給水支援、行方不明者捜索	●日数：11日間 ●人数：575名 ●車両数：96両
H15.9	三石、浦河	十勝沖地震	給水活動	●日数：2日間 ●人数：124名 ●車両数：12両
H18.8	鵠 川	水 害	給水活動	●日数：3日間 ●人数：12名 ●車両数：6両

参考② 【静内駐屯地の所在による経済効果】

※自衛隊世帯数400世帯として算出
※家計支出金額は、北海道中小企業総合センター家計消費支出調査による北海道における、平成20年5月から平成21年4月までの家計消費支出を参考

【周辺整備関係】

新ひだか町では、役場庁舎や学校の改修、消防機材や漁業用施設の設置として、昭和48年からの事業累計で19億4,500万円の補助を受けており、また、漁場に対する補償として昭和48年から累計して51億1,400万円（平成16年以前は静内分のみ）の補償を受けています。

【国からの補助金・交付金、町税関係】

自衛隊が所在することによる、国からの交付税や補助金、交付金として平成20年度は1億7,140万円（各交付金等の合算）を受けており、また、自衛隊員が町税として納めている額は、平成20年度では3,300万円になります。

【家計消費支出】

隊員やその家族の、衣食などに関する家計消費支出を考えると、北海道の1世帯あたりの家計支出金額の平均額である313万円を用いて試算すると、すべてが新ひだか町で消費されるわけではありませんが、年間12.5億円に上る計算になります。また、静内駐屯地の維持等に使われる物件費は年間1億9,500万円（平成19年度）になります。

※1 自衛隊の体制や装備の整備水準など、今後の防衛力の基本的指針を示すもの